

放射線科だより

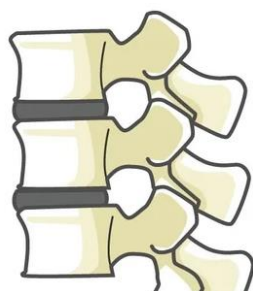
診療放射線技師 畑田 瞬

《腰①：脊椎圧迫骨折》

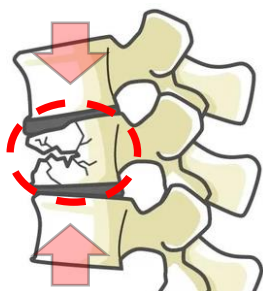
・ 脊椎（せきつい）圧迫骨折とは？

脊椎圧迫骨折は、上下方向からの力が加わって生じる背骨の骨折です。

正常な背骨では高所からの転落など大きな力が加わらなければ生じない骨折ですが、年齢とともに骨がもろくなる骨粗しょう症が原因で、しりもちをつくなどの小さな衝撃でつぶれる場合や、知らない間に徐々に体の重みを支えきれずに椎体がつぶれてしまうことがあります。



正常な脊椎



骨折がある脊椎

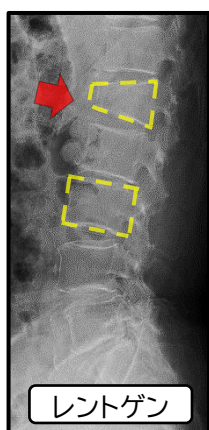
こんな時は要注意！！

- ・ 転んだり、物を持ち上げてから背中が痛い。
- ・ 朝起き上がるときに痛い。
- ・ 痛みで寝返りができない。
- ・ 圧迫骨折の治療をしているが痛みが続いている。
- ・ 背中が丸くなった。

・ 診断方法

いつから、どのような状況で、どのような痛みが出現したか診察し、レントゲン写真、MRI、CT検査を行い骨折の有無、骨の状態を調べます。

なかでもMRI検査は、レントゲン写真ではわからない圧迫骨折の診断や、脊髄神経への影響を画像化できるため非常に重要な検査となってきます。



レントゲン

▲転倒してから
背中が痛い

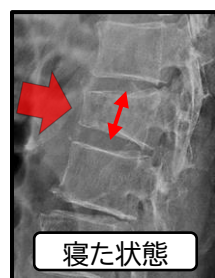
▲背中骨が
楔状になっている
⇒圧迫骨折か?!



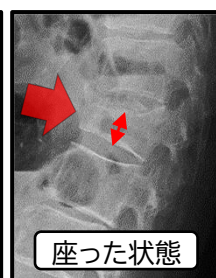
MRI

▲新しい圧迫骨折は
MRIで白く写る

安静・治療



寝た状態



座った状態

▲治療中は、寝た状態と座った状態(体重負荷)でのレントゲン写真を撮影/比較します。

※寝た状態でも座った状態でも骨の形/大きさが変わらない
↓↓↓↓
骨が固まった⇒治療終了